

かつたっ子 15 の春プロジェクト

～心・育ち・学び・夢をつなぐ～

【各部会の活動】

① 経営部会（校・園長会）←担当：梶並小学校 早瀬校長

■月例開催

■開催場所：勝田総合支所

■活動内容

- ・『かつたっ子 15 の春プロジェクト』推進策の検討
- ・進捗状況の把握、推進計画の修正、改善策の検討
- ・各校の学校経営上の成果と課題の交流

② 運営部会（教頭会）←担当：勝田中学校 右手教頭

■月例開催

■開催場所：4 校持ち回り

■活動内容

- ・『かつたっ子 15 の春プロジェクト』合同研修会の企画・運営を行う。
- ・学力向上部会の活動内容を検討、指導助言する。
- ・各校担当者が行っている部会の取組状況を具体的に把握し、各校教職員の共通理解と取組を促進する。
- ・小小連携や小中連携の交流行事や交流授業をコーディネートする。

③ 学力向上部会（各校教務主任＋教頭代表）←担当：勝田東小学校 春名校長

■適宜開催？

■開催場所：勝田東小学校

■活動内容

- ・『15 の春プロジェクト』で連携して取り組む学力向上対策を提案する。
- ・義務教育 9 年間の学びの積み上げを検討し、学年間の円滑な接続を支援する。
学習規律、基礎学力の定着、前学年の復習、学年のまとめ、課題提出
家庭学習の習慣形成、長期休業中の課題（春・夏・冬季休業）
- ・校区の学力分析を共有し、具体的な授業改善策の提示をリードする。
全国学テ、アセスメントテストの分析・共有
県学力学習状況調査結果の分析を活用して合同研修する。
各校の学力向上に資する授業改善を推進する。
- ・子どもたちの力をつける授業の手法、授業の振り返りシートやアンケート等、教師の授業力向上に資する取組を進める。

④ 生徒指導部会（保幼小中学生徒指導連絡会）←担当：勝田中学校 西村校長

■月例開催

■開催場所：勝田総合支所

■活動内容

- ・各校・園の生徒指導上の課題を共通理解し、具体的な対応策を講じる。
- ・かつたっ子の規範意識を育てる。（成長過程に応じた生活規律の徹底）
- ・社会で通用する力を身につけさせる（＝就労支援）ための連携を促進する。
キャリア教育の視点を明確にする。
- ・スマホなど SNS に関わる校区の実態把握と対応策を検討し、実践する。
アンケートの実施、家庭でのルール作り、メディアへの適切な対応 etc.
情報モラル教育実践の交流・夜９時以降のスマホの預かり
- ・いじめや人権問題に対する健全な意識を高め、いじめや差別を許さない心と態度を育てる。
校内いじめ防止対策委員会の設置・活動状況の交流
- ・関係機関との連携協力を進める。

⑤ 養護部会←担当：勝田中学校 西村校長

■学期末開催

■開催場所：勝田中学校

■活動内容

- ・子どもたちの心身の健康や生育歴、家庭の実態等の情報交流と連携を進める。
- ・子どもたちの生活習慣や生活実態を把握し、たくましい心と体づくりに資する対策を提案する。
- ・学校保健委員会の活動状況の共有

⑥ 学校事務部会（共同実施）←担当：勝田小学校 片山校長

事務共同実施上の課題と成果の共有・市への提案事項の検討

⑦ 道徳部会←担当：勝田小学校 片山校長

中学校への出前授業

【研究の交流】

① ユニバーサルデザインの視点をもった教育の推進と教育環境の整備

- ・教室環境・掲示等の共通理解

② ICT 教育の推進

- ・視覚に訴える教材の工夫

- ・デジタル教科書の研究

〈勝田中学校の取組〉

英語科授業での活用

教科書研究における他教科での導入検討

〈勝田小学校の取組〉

算数・国語２教科のデジタル教科書の利用１年生～３年生＝モデル校的な取組）

- ③ 「教えて考える」授業展開
 - ・ 福武教育文化振興財団の支援事業に、中学校区としての取組を検討
 - ・ 年間30万円の研究助成
- ④ 家庭学習の習慣形成
 - ・ 日常の家庭学習（家庭学習の手引の共通理解）
 - ・ 長期休業中の家庭学習（春、夏、冬）
- ⑤ 問題データベースの活用
 - ・ 各校の取組の情報交換

【小中、小小連携】

- ① 研修の交流→4校独自の研修に相互乗り入れする。
- ② 合同研修→全教職員でともに集い、ともに研修する機会を設ける。（年2回）
- ③ 合同行事→演奏会
講演会
参観日
- ④ 交流授業→英語
道徳